こども相談外来

0歳から中学生までを対象に、家庭生活や保育園・幼稚園・学校生活でのいろいろな困りごと・悩みごとについて「一緒に解決方法を考えていきましょう」という外来です。

【担当：奥谷、阿部】

乳幼児期

発達が遅い・気になる、言葉が遅い、視線が合わない、園で集団行動ができない、指示が通らない、落ち着きがない、かんしゃくがひどい、発達障害・自閉スペクトラム症が心配、など。

学 童 期

落ち着きがない、忘れ物が多すぎる、かんしゃくがひどい、会話がおかしい、友達とコミュニケーションがとれない、（日常生活は問題ないのに）読み書き計算がとても苦手、発達障害・自閉スペクトラム症が心配、チックが気になる、不登校で体・心が不調、心身症（繰り返す頭痛・腹痛、朝起きられないなど）、食事をとらなくなりやせてきた、夜眠れない、友達や家族に暴力・暴言、など。

担当スタッフ

- 医師・・・医療面と総合的なまとめ役を担当します
- 看護師・・・医師とご家族・お子さんの間をとりもつ役割を果たします
- 公認心理師・・・心理検査・カウンセリングを担当します
- 理学療法士・・・運動発達訓練を担当します
- 管理栄養士・・・栄養指導を担当します
- 保育士・・・個別療育を担当します
- 医療ソーシャルワーカー・・・学校や行政との連携を担当します

こども相談外来の予約～診察の流れは ホームページをご覧ください。 ▶▶▶

その他の専門特殊外来

- 発達外来
  ※NICU退院後の小児のフォローアップを行っています
- 小児神経外来【担当:永瀬裕朗、老川静香（神戸大学小児科）】
- 心臓外来
- アレルギー外来【担当:福田、高原】
- 食物アレルギー負荷試験【担当:福田、高原】
- 内分泌・代謝外来【担当:池谷紀衣子（神戸大学小児科）】
- 小児外科外来
  【担当:尾藤祐子、大片祐一、鮫島由友（神戸大学小児外科）】
- 乳児健診
- 予防接種
- シナジス外来

済生会兵庫県病院 広報誌 なでしこ VOL.81 JANUARY 2025

社会福祉法人 恩賜財団 済生会兵庫県病院
〒651-1302 兵庫県神戸市北区藤原台中町5丁目1番1号 TEL.078-987-2222（代表）
https://saiseikai.info

診療受付時間 8:30～11:30　休 診 日 土・日・祝・年末年始

●発行所／済生会兵庫県病院　●編集長／尾古 俊哉　●編　集／広報委員会

済生会兵庫県病院 広報誌

なでしこ NADESHIKO

JANUARY 2025
VOL.81
2025年1月発行

特集 Special Feature 小児救急 Pediatric emergency care

社会福祉法人 恩賜財団 済生会兵庫県病院

小児救急

Pediatric emergency care

こどもの急な病気に困ったら…

2024年4月、北神地区での小児救急医療体制を充実させるため、神戸市との連携のもと北部小児初期急病センターを開設いたしました。もともと当院は神戸市における二次救急（入院を必要とする患者さんを対象とする救急）担当施設としての役割を担いながら、北神地区のこども達ならびに保護者の安心となれるよう微力ながら時間を限って一次救急（初期の患者さんを対象とする救急）の受け入れを行ってまいりました。しかし休日に関しては力が及ばず、急病の場合は六甲山を越えて中央区に位置する神戸こども初期急病センターまたは西区に位置する神戸市医師会小児科休日急病診療所まで受診に行かなければなりませんでした。なんとか1年365日を通して北神地区で安心した救急医療を受けていただきたいという思いから神戸市との調整を繰り返し、長期的に持続可能な形としての北部小児初期急病センターの開設に至り、その結果、従来の小児救急と合わせ、診療時間を拡大し運営していくことが可能となりました。

診察時間は下の表の通りです。ゴールデンウィークや年末年始に関しても、もちろん受け入れを行いますので、365日を通じて診察を受けていただくことができます。休日に関しては午前中のみの受け入れとなり24時間すべての時間帯をカバーしているわけではございませんが、「翌朝には済生会で診てもらえる」と考えていただけますと幸いです。「断らない救急」をモットーに皆様の安心の盾となれるよう努めてまいりますので、お困りの症状があればお気軽にご連絡ください。

小児救急の診察時間

診察日	診察時間	受付時間
月曜日～水曜日	17:00 ～ 19:00	16:30 ～ 18:30
木曜日	17:00 ～ 21:00	16:30 ～ 20:30
金曜日	17:00 ～ 翌朝まで	16:30 ～
土曜･日曜･祝日･年末年始	9:00 ～ 12:00	8:30 ～ 11:30

※受付時間は診察開始の30分前から診察終了時間の30分前まで

主な対応疾患

- 感染症全般
- 呼吸器疾患（肺炎、気管支炎など）
- アレルギー疾患（じんましん、気管支喘息発作、アナフィラキシーなど）
- 免疫疾患（川崎病、IgA血管炎など）
- 神経疾患（熱性けいれん、てんかん発作など）
- 腎疾患（ネフローゼ症候群など）
- 消化器疾患（腸重積症、便秘症など）
- 代謝内分泌疾患（糖尿病性ケトアシドーシスなど）

外傷などの外科系疾患については基本的に対応しかねますが、まずはお問い合わせください。

診察により入院が必要と判断される場合は当院小児科病棟への入院が可能です。
紹介状は原則として不要です（選定療養費はかかりません）。

Q&A

小児救急の中でよくある疾患や相談を紹介します。

Q 生まれて間もない赤ちゃんなのですが、熱が出てきました。受診の目安はありますか？

A 生後3ヵ月未満の赤ちゃんは免疫が未熟であるため、38度以上の発熱がみられる場合は重い感染症が隠れている場合があります。ただし赤ちゃんは体温の調節が上手ではなく、衣服や室温などで熱が高くなることがあります。発熱に気がついたときは、まずかけものの枚数を減らしたり室温を下げてみたりするなど、周囲の環境を調整して1時間様子をみてください。体温が38度未満となり、赤ちゃんの様子が普段と変わりなければ、そのままご自宅で様子をみてもらって大丈夫です。調節しても発熱が続く場合や普段と異なる様子(哺乳の力が弱い、機嫌が悪いなど)があるときは、すぐに病院を受診しましょう。

**Q 熱が出るとけいれんします。どのような場合救急車を呼ぶべきでしょうか？
また、救急車が来るまでの間にできることはあるでしょうか？**

A 熱性けいれんは15分以内におさまるけいれんであれば問題ありませんが、それ以上続くけいれんはお薬でけいれんを止める必要があります。けいれんが起こった段階ではいつ止まるか予測できないので、まずは救急車を呼んでできるだけ早く病院へ行くのが良いでしょう。救急車が到着するまでは、嘔吐したものを誤嚥しないように体を横に向けて、可能であればけいれんの様子を観察しましょう。

**Q 1歳の息子が風邪をひくとぜーぜー、ひゅーひゅーということが多いのですが、
喘息でしょうか？ また、息苦しさで病院を受診するときの目安を教えてください。**

A 小さいお子さんの場合、気管支炎であってもぜーぜー（喘鳴と呼びます）することがあります。しかし息を吐くときに喘鳴が繰り返し聞こえる場合や、本人にアトピー性皮膚炎がある場合、ご家族に喘息の方がいる場合は、喘息の可能性もあります。こどもは息苦しさを訴えられないことが多いです。顔色が悪いときや呼吸が速いと感じるとき、息を吸うとのどの下や肋骨の間がへこむ様子があるときは、息が苦しいサインですのですぐに受診しましょう。

Q とくに前触れなくじんましんが出てきました。救急外来を受診したほうがよいでしょうか？

A じんましんには卵などのアレルゲンが原因で発症するものがよく知られていますが、明らかな原因なく出現するものもあります。じんましんが拡がってくる、かゆみが強いといった場合は救急外来を受診してください。また、皮膚症状以外に消化管の症状（嘔吐や腹痛など）や気道の症状（せきや口の中の違和感）、どことなく様子がおかしいといった症状がみられた場合はアナフィラキシーである可能性があります。救急車を呼んですぐに病院に行きましょう。

Q 救急外来を受診すべきか迷った時は、どのように判断すればよいでしょうか？

A ふだんその子をみている保護者が不安に感じるのであれば、それは立派な受診理由です。小児医療に精通した医療者よりも保護者のほうがより早くにこどもの異常に気が付けたとする研究結果が過去に報告されています。皆様の不安が解消できるようしっかりみさせていただきますので、まずはご相談ください。

お気軽にお問い合わせください

済生会兵庫県病院（北部小児初期急病センター）
所在地：神戸市北区藤原台中町5丁目1番1号
TEL:078-987-2222
受診の際は、事前にお電話でご連絡をお願いします